１２　大学・大学院

[Ⅰ-12-1表] 　　主要指標の推移

（１）学校数

ア　学校数は55校で、前年度と同数である。

イ　設置者別では、国立2校(構成比3.6％)、公立2校(同3.6％)、私立51校(同92.7％)である。

ウ　都道府県別では、東京都138校、大阪府55校、愛知県51校の順である。

[Ⅰ-12-1表・統計表58・付表-5]

（２）学生数

ア　学生数は243,475人で、前年度より3,426人(対前年度1.4％)増加している。

イ　設置者別では、国立29,005人(構成比11.9％)、公立16,215人(同6.7％)、私立198,255人(同81.4％)である。

ウ　男女別では、男子148,260人(構成比60.9％)、女子95,215人(同39.1％)で、前年度より男子は946人増加、女子は2,480人増加している。

エ　昼夜別では、昼間240,800人(構成比98.9％)、夜間2,675人(同1.1％)である。

オ　学生数の内訳は、学部222,041人(構成比91.2％)、大学院17,905人(同7.4％)、専攻科136人(同0.1％)、別科593人(同0.2％)、その他(科目等履修生・聴講生・研究生)2,800人(同1.2％)である。

カ　都道府県別では、東京都757,467人、大阪府243,375人、神奈川県193,560人の順である。

[Ⅰ-12-1表・統計表58・統計表61・付表-5]

（３）学部学生数

ア　学生数のうち学部学生数は222,041人で、前年度より3,162人(対前年度1.4％)増加している。

イ　設置者別では、国立19,369人(構成比8.7％)、公立12,505人(同5.6％)、私立190,167人(同85.6％)である。

ウ　男女別では、男子133,988人(構成比60.3％)、女子88,053人(同39.7％)で、前年度より男子は867人増加、女子は2,295人増加している。

エ　昼夜別では、昼間220,436人(構成比99.3％)、夜間1,605人(同0.7％)である。

オ　関係分野別では、社会科学関係81,306人(構成比36.6％)、人文科学関係31,962人(同14.4％)、その他29,595人(同13.3％)の順である。

[Ⅰ-12-2表・Ⅰ-12-1図・統計表61]



[Ⅰ-12-2表] 　 関係分野別学部学生数



[Ⅰ-12-1図] 　　　　関係分野別学部学生数の割合

[Ⅰ-12-2図]　女子学生の占める割合

（４）入学状況

ア　入学者数は54,325人で、前年度より566人(対前年度△1.0％)減少している。そのうち18歳の入学者数は、42,678人(構成比78.6％)である。

イ　男女別では、男子32,325人(構成比59.5％)、女子22,000人(同40.5％)で、前年度より男子は489人、女子は77人減少している。

ウ　入学者を出身高等学校の所在地別にみると、近畿地方出身者は44,038人(構成比81.1％)である。そのうち、大阪府内高等学校出身者は26,860人で、全入学者に占める割合は49.4％である。 [Ⅰ-12-3表・統計表63]

[Ⅰ-12-3表] 出身高校の所在地別入学者数と大阪府内高校卒業者の大学所在地別入学者数

（５）大学院の学校数

ア　学校数は46校で、前年度より2校（対前年度4.5％）増加している。

イ　設置者別では、国立3校(構成比6.5％)、公立2校(同4.3％)、私立41校(同89.1％)である。 [統計表59]

（６）大学院学生数

ア　大学院学生数は17,905人で、前年度より292人(対前年度1.7％)増加している。

イ　設置者別では、国立8,539人(構成比47.7％)、公立3,466人(同19.4％)、私立5,900人(同33.0％)である。

ウ　男女別では、男子12,371人(構成比69.1％)、女子5,534人(同30.9％)で、前年度より男子は30人、女子は262人増加している。

エ　昼夜別では、昼間17,209人(構成比96.1％)、夜間696人(同3.9％)である。

オ　課程別では、修士課程11,232人(構成比62.7％)、博士課程5,339人(同29.8％)、専門職学位課程1,334人(同7.5％)である。

カ　関係分野別では、工学関係6,192人(構成比34.6％)が最も多く、次いで社会科学関係2,989人(同16.7％)、保健関係2,897人(同16.2％)の順である。

[Ⅰ-12-1表・Ⅰ-12-4表・統計表58・統計表61・統計表65]

[Ⅰ-12-4表] 　 　　専攻分野別大学院学生数

（７）教員数（本務者）

ア　教員数(本務者)は13,519人(うち、学長53人、副学長88人)で、前年度より128人(対前年度1.0％)増加している。このうち外国人教員数(学長・副学長を除く)は、662人(構成比4.9％)である。

イ　設置者別では、国立3,530人(構成比26.1％)、公立1,373人(同10.2％)、私立8,616人(同63.7％)である。

ウ　男女別では、男性10,377人(構成比76.8％)、女性3,142人(同23.2％)で、前年度より男性は58人減少、女性は186人増加している。

[Ⅰ-12-1表・統計表66・統計表67]

（８）教員数（兼務者）

ア　教員数(兼務者)は14,659人で、前年度より169人(対前年度1.2％)増加している。このうち外国人教員数は1,082人(構成比7.4％)である。

イ　設置者別では、国立1,233人(構成比8.4％)、公立1,238人(同8.4％)、私立12,188人(同83.1％)である。

[統計表66]

１３　短期大学

[Ⅰ-13-1表] 　　主要指標の推移

（１）学校数

ア　学校数は24校（私立24校）で、前年度より1校減少している。

イ　都道府県別では、東京都37校、大阪府24校、愛知県21校の順である。

[Ⅰ-13-1表・付表-5]

（２）学生数

ア　学生数は10,918人で、前年度より251人(対前年度△2.2％)減少している。

イ　男女別では、男子875人(構成比8.0％)、女子10,043人(同92.0％)で、前年度より男子は1人、女子は250人減少している。

ウ　昼夜別では、昼間10,721人(構成比98.2％)、夜間197人(同1.8％)である。

エ　学生数の内訳は、本科10,519人(構成比96.3％)、専攻科52人(同0.5％)、別科48人(同0.4％)、その他(科目等履修生・聴講生・研究生)299人(同2.7％)である。

オ　都道府県別では、東京都13,436人、大阪府10,918人、愛知県7,677人の順である。

[Ⅰ-13-1表・統計表68・統計表71・付表-5]

（３）本科学生数

ア　学生数のうち、本科学生数は10,519人で、前年度より285人(対前年度△2.6％)減少している。

イ　男女別では、男子848人(構成比8.1％)、女子9,671人(同91.9％)で、前年度より男子は4人増加、女子は289人減少している。

ウ　昼夜別では、昼間10,322人(構成比98.1％)、夜間197人(同1.9％)である。

エ　関係分野別では、教育関係3,495人(構成比33.2％)が最も多く、次いで人文関係2,275人(同21.6％)、家政関係1,649人(同15.7％)の順である。

[Ⅰ-13-1表・Ⅰ-13-2表・Ⅰ-13-1図・統計表71]

[Ⅰ-13-1図] 　　関係分野別本科学生数の比率



[Ⅰ-13-2表] 　　関係分野別本科学生数

（４）本科学生の入学状況

ア　入学者数は4,968人で、前年度より274人(対前年度△5.2％)減少している。年齢別では18歳が最も多く、4,296人(構成比86.5％)である。

イ　男女別では、男子432人(構成比8.7％)、女子4,536人(同91.3％)で、前年度より男子は49人増加、女子は323人減少している。

ウ　入学者を出身高等学校の所在地別にみると、近畿地方出身者は4,385人(構成比88.3％)である。そのうち大阪府内高等学校出身者は3,253人で、全入学者に占める割合は65.5％である。

　　[Ⅰ-13-3表・統計表73]

[Ⅰ-13-3表]　出身高校の所在地別入学者数と大阪府内高校卒業者の短期大学所在地別入学者数

（５）教員数（本務者）

ア　教員数(本務者)は610人（うち学長12人、副学長8人）で、前年度より3人（対前年度

△0.5％)減少している。そのうち外国人教員数(学長・副学長を除く)は、16人(構成比2.6％)である。

イ　男女別では、男性281人(構成比46.1％)、女性329人(同53.9％)で、前年度より男性は6人減少、女性は3人増加している。

　[Ⅰ-13-1表・統計表75・統計表76]

（６）教員数(兼務者)

教員数(兼務者)は1,628人で、前年度より10人(対前年度0.6％)増加している。そのうち外国人教員数は、64人(構成比3.9％)である。

[統計表75]

１４　大学・大学院・短期大学の通信教育

[Ⅰ-14-1表] 　　主要指標の推移



（１）学校数

通信による教育を実施している学校は5校(通信制の学部を置く大学3校、短期大学2校)で、前年度と同数である。

　なお、全国で通信教育を実施している学校の実数は、64校（大学44校、大学院27校、短期大学11校で、うち大学と大学院の両方で通信教育を行う大学は18校）である。

[Ⅰ-14-1表]

（２）学生数

ア　学生数は9,522人（大学5,991人、短期大学3,531人）で、前年度より333人（対前年度3.6％)増加している。

イ　学生のうち、正規の課程の学生は4,852人(大学2,199人、短期大学2,658人)、科目等履修生・聴講生は4,646人(大学3,770人、短期大学876人)で、前年度より正規の課程の学生は46人減少（大学31人増加、短期大学72人減少）し、科目等履修生・聴講生は377名増加（大学306人、短期大学71人増加）している。

ウ　男女別では、男子3,214人(構成比33.8％)、女子6,308人(同66.2％)で、前年度より男子は314人、女子は19人増加している。

エ　正規の課程の学生の職業別では、無職2,967人(構成比61.2％)が最も多く、次いで会社(商店)員・銀行員等1,008人(同20.8％)、その他414人（同8.5％）の順である。

オ　正規の課程の学生の年齢別では、18歳～22歳が1,830人(構成比37.7％)、23歳～24歳が278人(同5.7％)、25歳～29歳が546人(同11.3％)、30歳～39歳が690人(同14.2％)、40歳～49歳が798人(同16.4％）、50歳～59歳が462人(同9.5％)、60歳以上が248人(同5.1％)である。

[Ⅰ-14-1表・統計表77・統計表78・統計表79]

１５　高等専門学校

[Ⅰ-15-1表] 　　主要指標の推移



（１）学校数

学校数は1校(公立)で、前年度と同数である。

[Ⅰ-15-1表]

（２）学生数

ア　学生数は848人で、前年度より1人(対前年度△0.1％)減少している。

イ　学生のうち本科学生は804人、専攻科、科目等履修生・聴講生は44人で、前年度より本科学生は2人増加し、専攻科、科目等履修生・聴講生は3人減少している。

ウ　男女別では、男子747人(構成比88.1％)、女子101人(同11.9％)で、前年度より男子は6人減少し、女子は5人増加している。

エ　教員（本務者）１人当たりの学生数は12.1人で、前年度と同水準である。

[Ⅰ-15-1表・統計表81]

（３）教員数（本務者）

教員数は70人で、前年度と同数である。

[Ⅰ-15-1表]

１６　留学生

[Ⅰ-16-1表] 　　主要指標の推移



（１）留学生数

ア　留学生数は9,107人で前年度より561人（対前年度6.6％）増加している。

イ　留学生の内訳は、大学5,956人（構成比65.4％）、大学院3,043人（同33.4％）、短期大

学108人（同1.2％）である。

ウ　費用別では、国費留学生747人（構成比8.2％）、私費留学生8,360人（同91.8％）である。

エ　男女別では、男子4,631人（構成比50.9％）、女子4,476人（同49.1％）である。

[Ⅰ-16-1表]

（２）国籍別留学生数

ア　国籍別では、中国5,447人（構成比59.8％）が最も多く、次いでベトナム817人（同9.0

％）、韓国・朝鮮700人（同7.7％）の順である。

イ　地域別では、東南アジア地域7,967人（構成比87.5％）が最も多く、次いで西ヨーロッパ地域274人（同3.0％）、北米地域269人（同3.0％）の順である。

[Ⅰ-16-2表・Ⅰ-16-1図・統計表83]

[Ⅰ-16-2表] 　　国籍別留学生数

[Ⅰ-16-1図] 　国籍別留学生数の割合

（３）専攻分野別学生数

ア　専攻分野別では、社会科学関係4,058人（構成比44.6％）が最も多く、次いで人文科学関係1,943人（同21.3％）、工学関係1,416人（同15.5％）の順である。

イ　前年度と比べると、社会科学、工学、医・歯学の分野で増加している。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　[Ⅰ-16-3表・Ⅰ-16-2図]

[Ⅰ-16-3表] 　　専攻分野別留学生数

[Ⅰ-16-2図] 　　専攻分野別留学生数の割合